

門真団地の問題解決 高齢者のつながりをつくる

メンバー

Aチーム（スマホ教室）：川崎 凜太郎・朱 銘皓・磯部 聖太

Bチーム（農園整備）：田村 唯人・畑 圭祐・森下 輝

指導教員：経営経済学部 経済学科 早川 公 准教授

【住宅の概要】

- ・高度経済成長期の都市部への人口流入に対応するため、大阪府が建設（府営住宅）
- ・建設当初の管理戸数は、2,364戸と府内でも最大級の規模
- ・現在の耐震基準を満たしていないため、建替えを進めている
- ・平成31年4月1日に大阪府から移管され、門真市営住宅となった

【課題】

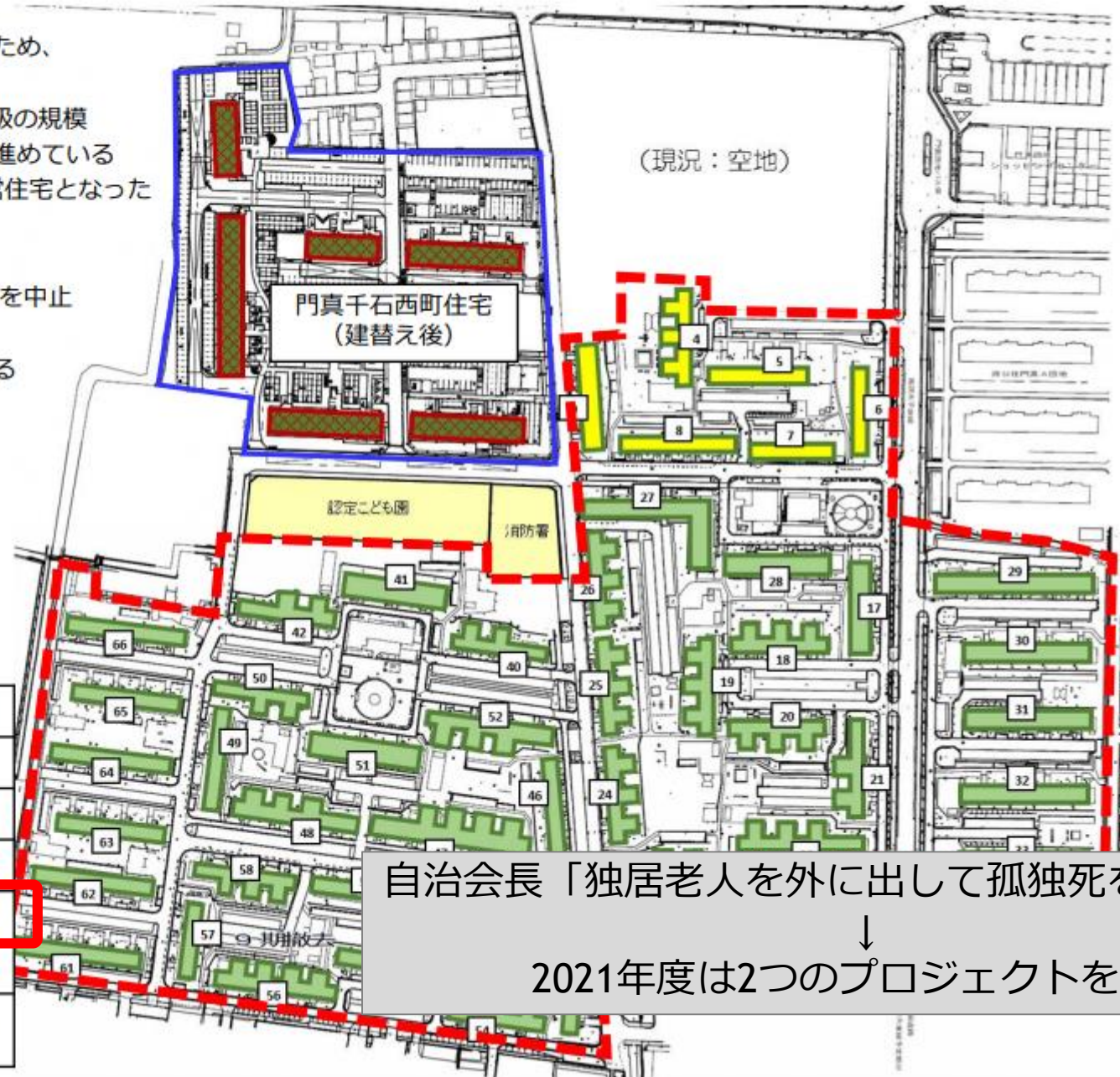
- ・建替えに伴い、約10年前から新たな入居者の募集を中止しており、空き住戸が多い（約750戸）
- ・建設当初からの入居者が多く、高齢化が進んでいる

【自治会構成】

- ・門真住宅自治会
4棟～33棟
- ・新門真住宅自治会
40棟～66棟

【団地のデータ】

団地名	門真住宅	門真千石西町住宅
管理戸数	1,666戸	520戸
入居戸数	911戸	500戸
入居者数	1,529人	930人
高齢化率	62.7%	55.1%
1人世帯率	49.2%	45.2%
備考	S41、42建設（低耐震）	H26、H30建設



自治会長「独居老人を外に出して孤独死を防ぎたい」



2021年度は2つのプロジェクトを実施

Aチーム：スマホ教室の試行

団地のリノベーション



スマホ教室の実施



メディアの取材も



【得られた成果と課題】

- ・ 高齢者のスマホに関する潜在的ニーズを確認できた。メディアの取材など社会的関心の高さがうかがえた
- ・ 次年度も継続するためのマニュアルを作成した
- ・ 今後の課題は、団地の住民のみなさんに活動を周知すること

Bチーム：団地内の農場整備

放置樹木の伐採



畑の土づくり・薪づくり



餅つき大会のサポート



【得られた成果と課題】

- 力仕事や高所作業など高齢者に難しい問題のサポートができた
- 今後の課題は継続的に関わり合える仕組みづくり



学生の感想 & 教員のコメント

- ▶ 初めて餅つきを体験した。力いっぱいついてしまって、直ぐにばててしまった。プロの方から「杵を落とすだけで力を入れない」と教えてもらった。そのおかげで、長い間つくことが出来るようになった
- ▶ 『独居老人を外に出す』という目標の実現のためにスマホ講座を開催したが、思ったよりも人が集まらなかったりとプロモーションの部分から全てに関して準備不足を感じた。それを改善するためのものを後の世代に繋いでいき、最終的な目標に辿り着けたらと思う。
- ▶ 『横のつながり』をすごく感じた。餅つき大会のときには主に動いてくれていた年配の方々のほかに、その団地内の親子や小学校の校長先生や教頭先生までいらっしゃったのでその関係を上手く使っていく方法があるのではないかと感じた。
- ▶ 「門真団地との関係を構築し、高齢者が外出しやすい環境にする」の仕組みは少しできたが、高齢者と一緒に何か活動することのほうが、高齢者の外出する目的ができ、独居老人も減ると思います。今回の活動は、学生だけの活動だったので、高齢者と一緒に活動できればさらに良いものができていたと思います。

【教員コメント】小さなことでも0から1までの過程をじぶんたちで考える大切さと体感できたように思います。次年度は実践を仕組みにつなげていきましょう！